

いきいきと暮らせるように

相談や情報提供など 身体障害者を支援



お気軽に電話してください

市は、障害者団体・メイストリーム協会に委託し、身体障害者生活支援事業を

行っています。西宮・芦屋に住んでいる障害者と家族の皆さんを対象に、障害者が地域で自立し、社会参加できるようにお手伝いをします。

在宅福祉サービスなどの利用援助、各種サービスの利用援助や介護相談・制度に関する情報提供や社会資源を活用するための支援、障害者が活動できる通所施設などの紹介、地域交流を深める場の紹介や参加援助、住宅の確保や改造に関する情報提供、福祉機器や情報機器について

のアドバイス。外出時の移動手段などの相談。各種ボランティア活動の情報提供。代読・代筆などによるコミュニケーション支援

社会生活を高めるための支援：障害者の自立に向けた相談。体験ルームでの自立生活訓練。地域生活に必要なノウハウの提供。ピアカウンセリング：自立に関して経験を積んできた障害者が対等な立場で話し合う

利用希望者は、まず電話で気軽に相談ください。外出が困難な人には訪問相談を行うこともあります。

【実施日時】月曜～金曜の午前10時～午後6時。土・日曜、祝日、時間外も転送電話により対応

【問合せ先】メイストリーム協会(中須佐町5-12) 0798-344-4609 FAX 0798-344-4604

芦原デイサービスセンターご利用を



在宅の身体障害者が 様々な活動で機能訓練

市立芦原デイサービスセンター(芦原町1-20)は、昨年10月に開所しました。在宅の身体障害者(18歳以上。ただし、介護保険対象者を除く)がデイサービスの拠点として利用できる施設です。運営は甲山福祉センターに委託しています。

一般デイサービスでは、パソコン、陶芸、編み物、生け花、皮細工などの作品づくりに取り組んでいます。

また、介護デイサービスでは、自宅までの送迎、入浴、食事のほか、将棋やゲーム、各種行事などを楽しんでいます。利用者負担は、食事400円、入浴600円、作品づくりの原材料費がかかります。

利用希望者は障害福祉課(0798-353-329) FAX 0798-353-5300へ問合せをください。

8月25日 見学会開く

対象 身体障害者
参加費 無料
定員 10人程度
申込 7月29日～8月20日に同センター(0798-693007 FAX 0798-693008)へ。先着順

同センターについて知ってもらおうと、「オープンデイ」を8月25日午後2時から開催します。演奏会などもあります。ぜひご参加ください。

費用 生計中心者の前年分所得税額に応じて、1時間250円～950円。生活保護世帯、所得税非課税世帯は無料

申込 身体障害者手帳所持者、障害福祉課(市役所本庁舎1階) 0798-353-3157へ

重度障害者に ホームヘルパー 派遣します

市は、日常生活を営むのに支障がある重度障害者・児に対し、家族が介護できない状況にあるとき、ホームヘルパーを派遣しています。

対象 身体障害者手帳1・2級所持者。ただし、介護保険対象者を除く

内容 食事・洗濯・掃除などの家事や身の回りの世話など。派遣回数・時間は身体状況などを考慮して決定

決定 申込 身体障害者手帳所持額を証明するもの、印鑑を持ち、障害福祉課(市役所本庁舎1階) 0798-353-3157へ



健康診断に白血球数測定が加えられるようになってから、白血球数の異常が見つかる機会が多くなりました。白血球は測定方法にもよりますが、健康な人では血液1マイクオリットル(100万分

の1リットル、 $4000 \sim 8500$ 個あり、好中球、リンパ球、単球、好酸球、好塩基球に分類されます。今日、白血球数はたいいて機械で測定されているため、白血球数の異常が指摘されても、顕微鏡で見ることにより、機械による白血球数及び分類が実際と合っているかどうか、そして異常な細胞が出ていないかどうかを確認する必要があります。

白血球が増加する場合、特に1万以上(血液1 μ l中)なら、その原因をはっきりさせておく必要があります。肺炎や腸炎などの感染症、心筋梗塞(こころく)や熱傷などの組織破壊などがあると、好中球が増加し、白血球数はすぐに1万個を超えます。このような症状がない場合、単に喫煙、ストレスのためかもしれませんが、慢性骨髄性白血病など血液疾患も考えて

おかねばなりません。ほかには、肺癆(がん)や胃癌で白血球が増えることもあります。また、白血球の中でリンパ球が多いときにはウイルス感染症やリンパ性白血病が、好酸球が多いときには寄生虫やぜん息などのアレルギー性疾患が考えられます。

白血球が減少する場合、特に3000個未満(血液1 μ l中)なら精密検査して原因を追求しておく必要があります。ウイルス感染によることが多いですが、鎮痛解熱剤や抗生物質など薬の影響、膠原病(こうげん)病、さらには白血病や再生不良性貧血など血液疾患であることがあり、原因が何であれ、好中球数が500

個以下(血液1 μ l中)になるとそれだけで重篤な感染症を引き起こす可能性があります。放置できません。このように健康診断で白血球数の異常を指摘されたら、必ず病院で精密検査を受けてください。

市立中央病院 内科 医師 松梨達郎さん



「白血球数の異常を指摘されたら、放置せず、原因をはっきりさせよう」

精神障害者の支えに ボランティア 養成講座開催

西宮市保健所は、精神保健福祉ボランティア養成講座の受講者を募集します。いきいきと豊かに生活できる福祉のまちづくりに皆さんも参加しませんか。

内容と開催日時 精神保健福祉に様々な立場でかわる皆さんの講演... 10月2日、11月4日、(申込不要)

会場 総合福祉センター(別館。ただし、前記は中央公民館(プレラにのみや内)。は同保健所、精神障害者小規模作業所3カ所のいずれか

受講料 無料
定員 各50人
は、のうち3回以上参加した人のみ受講可

申込 7月30日から電話で健康増進課(0798-263669)へ。先着順

は公開講座のため、同講座受講者以外も入場可

白血球数の異常を 健康診断で指摘されたら

花火は
時間守ろう
午後10時以降やめて

午後10時から翌朝6時まで、海岸や公園など公共の場所での花火はやめてください。



阪神米穀のお米



うなぎを食べて夏を乗り切ろう...

今年の7月25日は、土用の丑の日です。平賀源内の発案で江戸時代から夏を乗り切るためうなぎを食べ、親しまれてきました。炊き立てのご飯にうなぎとたれと山椒を少し。食欲がなくてもおかわりをしたくなる香りですね。

阪神米穀は「おいしいごはんを食べよう国民・国民運動」を応援しています。